

第32回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

C.情報・防災・交通

【HP 掲載No.C05】

発表No.	C05
タイトル	コロナ禍における観光地を包含した中山間地のレジリエンスに地域コミュニティが与える影響について～埼玉県長瀬町の事例～
所属・名前	ものづくり大学大学院 田尻 要 守家 和志 木村 奏太 新井 達也 鈴木 雅人 中村 亮太 埼玉県長瀬町 緑川 圭介
キーワード	①安心・安全なまちづくり技術 ② 観光 ③ 地域再生
<p>今般の新型コロナウイルス感染症の流行は、市民の生活様式の変化にとどまらず、地域コミュニティや災害の対応などにも大きなインパクトを与えた。現在、国や県など広範囲でこれらの具体的な影響の程度が調査され、今後の対応策について検討中であると考えられるが、地域特性を考慮した調査や考察を進めることは今後の課題である。とくに地方の観光地を含むような地域では、生活様式やコミュニティの変化が、レジリエンスに及ぼす影響は少なくないと考えられる。</p> <p>そこで本研究では、埼玉県の中山間地に位置し、観光地でもある長瀬町において、新型コロナウイルス感染症の流行が、住民の生活や意識に及ぼした影響を調査するとともに、地域観光の復興や災害時の避難行動などに与える影響を考察した。</p>	